



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5:00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後5:00

2024年10月号ブリテン 第404号

会長 御園生 好子
副会長 小山 久恵
書記 大森 裕子
会計 大谷 博愛
直前会長 長津 徹
担当主事 鳩山 徹郎

2023-2024年度主題(Thema) IBC:台北ユニオン DBC:東広島・京都プリンス

Our Motto 国際標語 「共により良い世界を」
国際会長 シナヴァスカーン 「立ち上がろうそして輝こう」 (インド)
アジア太平洋会長 ジョウン・ウォン 「大きなインパクトを起こそう」 (台湾)
東日本区理事 山田 公平 「ワイズの方向性を見極める」 (宇都宮)
あずさ部部长 ピーター・マウントフォード 「めあて望み」 (長野)
サンライズ会長 御園生 好子 「原点を見つめさらなる発展を」

10月第一例会のお知らせ

とき 10月10日(木) 17:00~
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円

◆プログラム

開会点鐘 会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
卓話『salamat Aの活動とフィリピン訪問報告』
昨年度ユースアクションで絵本を作ってフィリピンの子供に送りました。ユースアクションで昨年度、賞を受賞。 卓話者 日本大学学生3名
協議・報告・連絡事項 会長・各担当者
にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員
閉会点鐘 会長

10月以降の予告

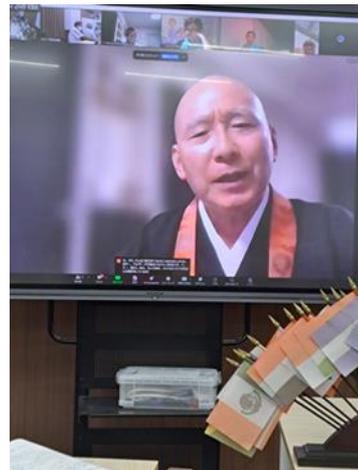
10月19日(土) あずさ部部大会
10月22日(火) 第二例会
10月26日(土) 八王子クラブ30周年記念

10月のハッピーバースデー 9月例会出席者
10月5日 飯野毅与志さん 13名
10月24日 柴田弘子さん (出席率92%)

9月第一例会報告

江原修一

9月12日木曜日、山手センターにて第一例会を行いました。本日のゲストスピーカーは善光寺玄証院 福島貴和住職です。今回はお住まいの長野とリモートでのスピーチに成ります。開始予定時刻まで時間が有りましたので、先に会長の報告事項及び各クラブの予定行事の出欠等を会長が取り、にこにこスピーチに移り、暫くして長野の福島様より映像が入り卓話を開始致しました。



内容はイスラエルとパレスチナ(以後、当地と云う)の話です。福島様は何度も当地を訪れていて住民との交流も有り、当地の若い方々を玄証院に招き、交流を持っている様です。皆様ご承知の通り現在当地は戦争状態です。

福島様の話は、当地に行った時の役人、住民の考え方等の話。ユダヤ教とイスラム教の対立に、平和の宗教仏教の僧侶である福島住職の今後如何にしたら良いか、ご自分のご意見、他にも色々お考えを拝聴致しました。毎日テレビ報道されている事象に対して、どの様に考えれば良いかが判るとても良いお話でした。リモート卓話の接続等にご尽力戴いた青山様、有難う御座いました。

会場ビジター：埼玉クラブの浅羽様、武蔵野多摩クラブの大輪様

リモートビジター：浅羽めぐみさん、大澤和子さん、久保田貞視さん、佐藤成美さん

出席者：御園生、長津、菰渕、大谷、立田、江原

第20回富士山例会報告

大谷博愛

9月28日、29日の二日間に亘り、恒例の富士山合同例会が行われました。回を重ねて今年で20回目、従来我がサンライズと富士五湖クラブの合同例会でしたが、今年から武蔵野多摩クラブが加わり3クラブ合同例会になりました。サンライズの出席者は泉さん、大森さん、長津さん、御園生さん、大谷の5名でした。

15時15分にワイズ共通の開会セレモニーで合同例会が始まり、3クラブの会長挨拶のあとゲストと参加クラブの紹介がありました。北見や京都プリンスをはじめ12クラブから29名のゲスト参加があり、総勢47名がこの合同例会に集いました。部長公式訪問でもあったのでピーターあずさ部長の挨拶があり、その間にニコニコboxが回されて集まった30,511円は「能登半島豪雨緊急支援」に献金されました。

合同例会が終わって、BBQの準備の間に望月勉ワイズの軽妙な司会でおもてなしタイムがあり、富士山例会20年の歩みを映像で観賞し、トップ景品付きのクイズもありました。故人の顔を懐かしんだり、昔の自分の姿を見つけて誇らし気に叫んだり、クイズでは一問毎に知っているの知らないのと騒いで、ワイワイガヤガヤと楽しい時間を過ごしました。このタイムの最後に一つ一つ全部違う富士山の写真が印刷された世界に二つとないバッグが参加者全員にプレゼントされました。

そして、いよいよ富士山合同例会のメインイベントのBBQが始まりました。ワイズのイベントでは偶に料理不足で不満の声が聞かれることがありますが、この例会のBBQは美味しく豊富な食材が無尽蔵に鉄板の上で焼かれて全員が満足感で満たされました。

翌朝の御来光ウォークは天候の関係で中止となりましたが、朝食後の御中道散策は予定通り行われました。約



3.5kの山道を歩くこの散策に参加者最高齢の久保田貞視ワイズも元気に参加されていたことは驚きでした。

この後、温泉で汗を流して、湯上りのビールと食事を堪能して散会しました。頂上は雲に隠れていましたが、雨

も降らず雲海を楽しむことができました。この時期の富士山5合目としてはやや暖かめで、日本晴れの富士山とは違う姿を味わうことができたので天気に恵まれていたと言えるでしょう。富士五湖クラブの周到な準備のおかげで、富士山合同例会を心行くまで楽しむことができました。



YVLF 報告

長津徹

9月6日から3日間、山中湖センターで開催された第35回ユースヴォランティアリーダーズフォーラムに参加しました。16時受付開始に合わせて13時15分新宿発の高速バスを予約したのですが、中央高速道路が事故閉鎖で2時間以上の遅延中、夕食に間に合うかと心配しました。八王子辺りまで来た時開通し、平野バス停にほぼ定時到着、東京駅前から来ているリーダー達を乗せたチャーターバスとほぼ同時に山中湖センターに入ることがで

きました。16時30分開会式で顔合わせ、リーダー26名
スタッフ10名ワイズ37名で第35回のフォーラムがス
タートしました。1日目は夕食後のキーノートスピー
チ、熊本YMCAの伊藤眞太郎氏。今回のテーマはいわゆる
不登校児問題について熊本YMCAのフリースクール
「プラットホーム」を例に話された。3日間にわたって
我々ワイズもYMCA関係者も夫々の立場で考える機会と
なった。



2日目午前中は浜辺でリーダー達のカヌーを眺めたり富
士山をバックに記念撮影したりと楽しく過ごした。午後
はグループごとのミーティングタイム、我々ワイズは山
田公平理事の元4グループに分かれて意見を述べあっ
た。3日目は聖日礼拝で始まった。2日目の昼食中に倒
れ、救急搬送されるも亡くなった城田さんを偲ぶ会とも
なった。東京多摩スマイルクラブの城田さんは今回のリ
ーダーズフォーラムの実行委員長でもありいわば殉職と
もいえると思う。午前中は掃除とチェックアウト後、各
グループごとの発表がありリーダー達の成長ぶりを目の
当たりにすることができた。帰りは利根川元理事の車に
便乗させて頂きました。東京サンライズからは長津、飯
野の2名参加で、好天に恵まれた山中湖を楽しんで参り
ました。

ひよこのつぼやき vol:258

私の楽しみ

東京西クラブ 本川悦子

杉並区に拠点置いて活動している日本フィルハー
モニー交響楽団が、区民に向けての事業として60歳から
の楽器教室を開いています。楽器はヴァイオリン、チェロ、

フルート、クラリネットの教室があります。私はチェロの
教室に入りたかったのですが、娘に足が短いと苦労する
と言われ、小さいころに習っていたヴァイオリンの教室
に入りました。ここに5年くらいいてから、弦楽合奏団や
オーケストラに入って演奏していました。今は先生とメ
ンバーが8人のこじんまりした（人が集まらないだけ
ですが）弦楽合奏団に所属しています。少人数の為、いろ
ろとミスが目立ちます。違う音を出したり、休符のとこ
ろで一人音が残っていたり、誰の音とすぐわかってしま
います。先生はニターと笑っているし毎回冷や汗もので
す。今は来年2月の発表会に向けて、モーツァルト作曲シ
ンフォニー25番を練習しています。8人でも揃うことは
なかなか大変ですが、そろった時は気持ちが良いもので
す。ここも高齢者が多い（私は真ん中くらい）ですが、ボケ防
止のために長く続けたいと思っています。



9月第二例会報告

御園生 好子

9月28日に実施し、以下が取り決められました。

1. お散歩例会は10月か11月に実行する。
2. 山中湖センターのクリスマス会を開催し、実行委員長は長津徹さんをお願いする。

出席者: 大谷、長津、御園生、大森

YMCA ニュース

山手センター 鳩山徹郎

★能登半島豪雨緊急支援募金★

9月21日～22日の石川県能登地方の記録的豪雨に
より、東京YMCAが1月の震災後避難所運営支援を行

ってきた輪島市町野町も大きな被害を受けている。今後全国のYMCAが協力し、現地視察の上で、支援活動について検討していく。また「2024年9月能登半島豪雨緊急支援募金」を開始した。10月3日には高田馬場周辺にて、東京YMCAの会員、学生、ユースボランティアリーダー、職員など、たくさんの方々が街頭に立って支援を呼びかけ、短時間ながら113,008円の募金が寄せられた。同日、江東区しなのめエリアでもスタッフ12人により支援を呼びかけ、47,044円の支援が寄せられた。いただいた募金は、輪島市へのボランティア派遣の他、YMCAが展開する被災地支援活動に用いられる。



★「第38回 チャリティーラン」駅伝大会開催！1,300人が来場★

障がいのある子どもたちの支援のため「第38回東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン」を9月28日（土）、都立木場公園で開催。41チーム計247人のランナーと伴走者が力いっぱい走った。レース前の「こどもラン」には幼児・小学生とその保護者あわせて約300人が参加。ボランティア・スタッフ約270人と応援者を合わせると来場者総数は約1,300人となり、にぎやかな大会となった。今年はチャリティーラン全国大会委員長でパリ2024パラリンピック競泳メダリストの富田宇宙さんも会場に駆けつけてくださり、こどもランとチームレースにもランナーとして参加され大会を盛り上げてくださった。大会の参加費は1チーム10万円、前日まで心配された天気も当日は雨にもふられず実施でき、おか

げさまで支援金総額は4,100,000円となった。また会場内で能登半島豪雨緊急支援募金の呼びかけがあり、22,407円が寄せられた。



編集後記

ブリテン10月号をお届けします。ようやく涼しくなり、それと共に日の出が遅く、日の入りが早くなりつつあります。少しずつ季節の移り変わりが感じられるようになまりました。朝夕の犬も散歩の楽になりました。年々、秋が短くなっているような気がしますが、実りの秋、読書の秋、芸術の秋など、様々な秋を楽しみましょう。



会費納入のお願い

- 三井住友銀行 恵比寿支店 普通口座: 6762355
- 口座名 東京サンライズワイズメンズクラブ